



神戸市東灘区住吉本町2丁目19-3 TEL(078)851-9381 FAX(078)821-7270 Email info@kobegojo.sakura.ne.jp URL www.k-kyowakai.or.jp

2021年 / 7月号 No.394

発行 東神戸医療互助組合

日本国憲法第25条 (生存権、国の社会的使命)

すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。
国はすべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の
向上及び増進に努めなければならない。

新型コロナに負けない医療・
介護・福祉の体制づくりを

命と暮らしを守る政治に つくりかえよう



金田峰生さんに応援の寄せ書き／一時的にマスクを外して写真撮影

梅雨の中休みで晴天に恵まれた6月6日(日)。神戸市教育会館において、第45期通常総代会を開催しました。昨年に続いて、今回も残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大がおさまらず、規模を縮小しての開催となりましたが、15支部から選出された総代をはじめ、ご来賓や理事など総勢89人が集いました。

まず議長に住吉北支部の藤末さんと灘東支部の浜中さんを選出。漁島理事長が「コロナ禍でこそ互助組合の存在価値をゆるぎないものにしよう」と開会の挨拶。その後、神戸健康共和国の藤末理事長と兵庫県知事選挙に立候補予定で互助組合としての推薦も決まった金田峰生さんから来賓挨拶を受けました。

藤末理事長からは先日お亡くなりになった大西和雄医師の功績などが語られ共和国としてさらに地域に出ていく活動を強めることが報告され、金田さんからは県知事選に立候補するにあたり、医療機関への補償などを強め、病床削減などをさせない取り組みを実現したいとの抱負が語られました。

(2面に続く)

後期高齢者健診

お忘れなく！
75歳以上の健診受診券
7月末が申込締切です

神戸市の後期高齢者健診を東神戸病院など指定医療機関で受診することができます(無料)。7月末までに神戸市に申し込みましょう。

東神戸医療互助組合は、兵庫県政に私たちの要求を反映させるため、さまざまな分野の団体とともに「憲法が輝く兵庫県政をつくる会(略称/兵庫・憲法県政の会)」に賛同し、活動しています。憲法県政の会は今7月18日(日)投票でたたかれる兵庫県知事選に、元県会議員・金田峰生(かねだみねお)さんを擁立することを決めました。これを受け、私たちの理事会でも推薦を決議しました。組合員のみなさんも、応援よろしくお願いいたします。

今号の 主な記事

総代会での討議要旨…3 コロナ禍に医療破壊2法案成立…4 心のスナップ…5 ことしも平和行進…5 まちがい
は7つ…6 おたよりポスト…6 サークル紹介「ちぎり絵」…7 わが家でグルメ気分「かんたん! 巻き寿司」…8



ウォーキングで 「お屋敷めぐり」

住吉北支部 三神佳豆子

お天気に恵まれた4月10日、総勢20人が集まり、桜散るなか、元気に「お屋敷(外)めぐり」(中には入れません)に出発しました。



白鶴美術館や蘇州園ではお庭に入らせてもらい、一枚岩の石段や手入れの行き届いた植木や花をみせていただきました。

塀越しに見える暖炉の煙突、庭の木、ずっと続く大きな石垣など、さすが「お屋敷」と感じることで、さすがに「お屋敷」と感じるから見えた玄関までの距離にも驚かされました。

いつも通っている道を、じっくり巡り、わが町の歴史に少し触れることができよかったですという感想もいただきました。

行事再開めざし 今はワクチン普及に 奮闘

葺合北支部 M・P

新型コロナウイルス対策で明け暮れ、心身にも経済的にも多大な影響を受けての生活を強いられています。皆さまから「まだカフェも食事会も開かないのネエー? 淋しいわー」との声掛けが頻繁にある中、「感染リスクを回避する



ふきあいの郷スタッフルームの様子

には」と知恵を出し合っても、絶対安全という空間を提供できないと苦渋の決断。多目的室では全ての行事が4月から休止中です。

「ふきあいの郷」では柳筋診療所をはじめ、各事業所がいつものように職員一丸となって新型コロナウイルス感染予防に、ワクチン接種に、そして我々の命と健康を守る為に日夜戦って下さっています。もうすぐ皆様の笑顔が見えることを信じ、今が踏ん張りどころです。

パンデミック時、災害時などに、何が一番に必要なのか、どう備えれば良いのか、自助、共助から公助に繋げる道も開拓せねばと考える日々です。



ほくら支部
中町 則子さん

かんたん! 巻き寿司

【材料(4人分)】

すしのり	4枚	米	2合
きゅうり	1本	すし酢	適量
ちくわ	2本		
卵	2個		
かにかま	1袋		



【作り方】

①きゅうりは縦4本に切り、塩少々振りかける。すしを巻くとき、ペーパーで水分を取る。
②ちくわは縦4本に切り、甘辛く煮る。
③かにかまは縦半分に切り、すし酢につける。

④炊いた米にすし酢を振りかけ、すしごはんをつくる。
⑤ごはんをすしのりに広げ、①～④の具を中央に置いて、海苔巻きにする。



東神戸病院の
新型コロナ対応
東神戸病院・遠山治彦院長
神戸健康共和国ではコロナ対策について、①コロナ感染疑いを含む全ての患者の受療権を守る、②職員の感染防止を徹底する、③連携して地域での感染対策、予防に取り組む、の三原則を掲げて取り組んできた。昨年3月9日には「風邪・発熱外来」を開設。のべ1296人を診察し、コロナ確定例は67例（5月23日時点）。11月以降はコロナと診断された患者数が10人を超える月もあるなど急増した。当初は行政のPCR検査態勢

が立ち遅れる中、東神戸病院では抗原検査を開始、東神戸診療所でPCR検査機器を導入し、迅速な検査・診断ができるようになった。今年4月には院内でクラスター発生。新規入院や救急受入、外来の一部を制限した。重症のコロナ患者は呼吸不全が急速に進行し、高濃度酸素が必要となる。感染力が非常に強い中、病棟の再編を行い、陽性者と陰性者を分ける「ゾーニング」など、スタッフが総力をあげて感染対策に取り組み、5月末に収束し



総代会での討論要旨



（1面からの続き）
その後、議案提案となり「2020年度まとめ2021年度方針案」「会計報告・予算案」「会計監査」そして「新役員体制」などが提案されました。
議事は討論へと進み、最初に東神戸病院の遠山院長から、病院での新型コロナ対応の経験が報告され、続いて、各支部からコロナ禍における経験や取り組みが報告されました（討論の要旨は次のページで紹介します）。
討論の後、議案採択で新役員体制を含め、すべての提案が満場一致で採択されました。

その後、この1年間に互助組合活動で奮闘された支部への表彰が行われ、「組合員ふやしの部」や「出資金ふやしの部」など計6部門に対して、のべ17支部が表彰され、代表して六アイ支部の高西さんが表彰状を受け取りました。最後に「特別決議」が芦屋支部の細川さんから提案され、大きな拍手で確認されました。
その後、第1回理事会が開催され、新理事長には引き続き漁島理事長を再任。新たな副理事長として2人が加わり、理事36人、会計監査3人



の新体制が確認されました。
理事会報告として漁島理事長より、今期で理事を退任された岡さん（賛合南）、岡本さん（兵庫）、会計監査の松下さん（住吉南）の3人と、新たに加わった理事3人と会計監査1人が紹介され、代表して賛合南支部の岡さんより退任の挨拶をいただきました。
最後に門脇副理事長から閉会の挨拶をつけ、コロナに負けず新たな工夫で互助組合活動に取り組みでいくことが確認され総代会は無事に閉会を迎えることができました。



で、コロナ対応を続ける中で、日本における医療体制の脆弱さ、PCR検査やワクチンなど国の対策の遅れ、感染拡大が続く中でオリンピック開催にひた走る国の姿勢などが明らかになった。
そのような中、感染防止方ウングりや、応援タペストリー贈呈など、東神戸医療互助組合のみなさんからの支えと応援の声に私たちは大いに励まされた。
コロナ禍で支部の絆をつむぐつむぐみ
灘東支部・立石さん
コロナ禍で居場所活動に自粛が続くなか、感染対策や緊急事態宣言下での過ごし方など、組合員の声を聞いてまわった。寄せられた声を支部二ユースで紹介し、思いを交流できるよつ、努めてきた。
ワクチン予約で相談会
住吉南支部・兵頭さん
他団体もワクチン予約の相談会をあちこちで開いており、共同して取り組んでいる。相談会に来られた方から



東神戸病院への期待と信頼の声といっしょに1万円もの出資金が寄せられた。
新しい居場所開設の取り組み
北支部・佐藤さん
昨年10月に北支部の居場所「サロンすずらん」がオープン

ン。体操班会や喫茶など新しい取り組みを進めてきたが、緊急事態宣言で休止中。それでも気軽に立ち寄れる居場所として、毎日開けるようにしている。
コロナ禍で頑張る病院にタペストリー贈呈
北支部・田中さん
コロナ禍で頑張る病院に応援の気持ちを伝えようとタペストリーを作り、済生会兵庫県病院、東神戸病院、JCHO神戸中央病院、いろどりの家・大池に届けました。東神戸病院では授与式までしていただき、本当に私達の病院だなと感動した。

みんなでひろげよう♪
金田峰生 応援ソング
7月18日投票の県知事選に立候補を表明した金田峰生さんの応援歌ができました。題名は「手をつなぎいのち輝く街へ」。「憲法が輝く兵庫県政をつくる会」の神戸青年合唱団・増田二郎さんが作詞・作曲しました。素敵なイラストと歌詞がついた画像が Youtube で公開されています。右のQRコードからアクセスできます。



【第45期役員】	
理事長	漁島 国弘
副理事長	門脇 操
副理事長	北山 公一
副理事長	青木 淳子
副理事長	森 廣子
副理事長	秋本 恵子
専務理事	三木 美成
理事	前田 竜成
理事	渡部 明
理事	廣瀬 久美子
理事	北嶋 寿一
理事	羽瀨 茂治
理事	宮本 琴子
理事	原田 和子
理事	久保 正恵
理事	兵頭 和子
理事	島田 俊子
理事	高西 裕子
理事	大江 幸子
理事	加藤 加代子
理事	ブラトリ ミチコ
理事	前田 安枝
理事	渡部 昌武
理事	大前 雅裕
理事	田嶋 俊三
理事	村上 泰道
理事	岡本 暁良
理事	きた 結
理事	藤堂 圭次
理事	安田 忠彦
理事	羽原 光彦
理事	山本 智文
理事	鈴木 和子
理事	村上 未央
理事	成山 昌子
理事	村上 次郎
理事	永井 いさ子
理事	松浦 勝
理事	細谷 禮三
会計監査	
会計監査	

コロナ禍の中、マスクとワクチンと陽性者数と死者数が日々取り沙汰され、医療関係はもとより飲食関連、文化関連など、国民生活の広い分野が危機的状況にある▼これを書いている今、オリンピックの聖火リレー辞退者は増え続け、どんな風に開催するのかさえ未だはつきりしない。その為もあつてか衆議院解散があるのかないのか、これもまた先が見えない▼そして兵庫では7・1告示7・18投票で知事選挙があり、更には10・10告示10・24投票で神戸市長選挙が予定されている▼知事選では金田峰生さんが憲法県政の会から立候補の予定で、総代会では来賓として挨拶をされて理事会からは激励の寄せ書きが渡された▼ワクチン接種はどれだけ進むのか、マスク生活はいつ終わるのか、私たちの生活の安心安全はいつ訪れるのか▼政権よ、国民の方をしつかり見て欲しい。無理なら作ろう、真に国民のことを大事にする政権を。
(K・H)



コロナ禍に医療破壊2法案成立

冷たい政治に総選挙で審判を

社保平和委員会 北嶋 寿一

「コロナ禍であらためて思うことは、政治と私たちの命・くらしが密接に結びついているということ。新型コロナ感染者数やオリンピックの話題ばかりに目が向きがちですが、今国会ではろくな審議もせず、悪法が次々に成立してしまいました。」

私たちにとって、とりわけ重大なのは、多くの高齢者の医療費窓口負担を2倍化する

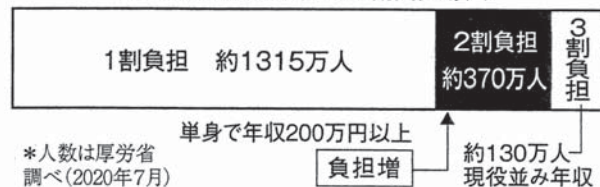
法案と、病院数や、その病床数を大幅に削減する法案が成立したことです。

医療費2倍化で深刻な受診控えが

今回の値上げは、75歳以上で一定の年収がある人の医療費窓口負担を2倍にするというもの。政府の試算では、該当する高齢者は約370万人です。健康保険加入者本人と



75歳以上の医療費窓口2割負担導入



高齢者は医療費が無料という時代もあったのに、少しずつ少しずつ負担増を強いられてきました。今回の改悪では自分分は該当しないという人もいるわけですが、いったん医療費負担増の仕組みが導入されれば、あとは負担割合が少しずつ上げられていきます。消費税のように。

ただでさえコロナ禍で高齢者の受診控えが問題になっているのに、これに拍車がかかり、ますます命に関わるケージが増えてしまいます。菅首相は根拠もなく「直ちに健康に影響しない」と無責任な答弁に終始しましたが、政府自身、「医療費が上げれば医者にかかるのをもつとがまんするだろう」と受診控えが起ることを見込んで、医療費給付を年間1050億円も削減できると推計していたことが野党の追及で分かりました。このままではまちがいに受診控えは増えるのです。

国保料も大幅に値上げ

しかもこの法案、窓口負担を引き上げるだけでなく、自治体が国民健康保険への公費

繰り入れを廃止する方針を明記するよう定めており、国保料の大幅値上げにも法的根拠を与えるものとなっています。まもなく総選挙があるでしょう。選挙後の国会では、国民の命を削る法律を廃止し、医療負担増の流れを逆転させましょう。

全国で20万病床削減 400超病院統廃合

医療体制そのものを破壊してしまう「病床数削減法案」が成立したことも重大です。コロナ感染の収束がみえないなか、医療機関や保健所の体制強化が緊急の課題のはずなのに、400以上の病院を統廃合し、ベッド数を約20万床も減らす内容です。今までも少しずつ進められてきましたが、今度は法律でしぼって、一気に進めてしまおうというのです。

コロナ病床以外の病床を減らせば給付金

コロナ重症患者のベッドを

コロナに負けず

多彩に活動

住吉北支部



談会「新型コロナウイルスについて」を開催しました。会場の渦森会館には16人が集い、東神戸病院在宅療養支援室の石井師長に感染予防の基本を学びました。

質疑応答ではたくさんの質問が出され、マスクの取り扱い方なども深めることができました。渦森会館の所長も参加されて、「大変勉強になりました」とお声をいただきました。

東灘6支部

東灘6支部(ほくら・うは)

ら・住吉北・住吉南・六アイ・御影)も、東神戸病院に感謝と激励の気持ちを込めて寄せ書きをつくりました(右の写真)。



うはら支部



マーシー すやすや

灘西支部 加藤加代子さん



家族になって20年、いつも一緒にのマーシー。私たちがケンカをすると、どちらにつこうかとウロウロ、私が元気をなくすと私の前に座って、じっと目を見つめ、なぐさめてくれる。いつまでも元気でがんばろうね。

屋外企画なら換気充分で三密も避けられると、うはら支部はグランドゴルフ大会を企画。グランドゴルフの用具などは区役所が無料で貸してくれます。当日は組合員が17人あつまり、久しぶりに外出できた大好評!



ことしも 平和行進は 代表派遣&沿道で応援を

■7月9日(金)

14:30 芦屋市役所前集会→市内を行進
16:15 東灘区役所前集会→阪神御影駅まで行進
17:15~阪神御影駅前でスタンディング

■7月10日(土)

10:00 六甲道駅前集会→王子公園駅まで行進
11:00 王子公園駅前でスタンディング
12:00 神戸市役所前集会→県庁前まで行進
13:00 県庁前集会(行進なし)
14:00 兵庫区役所前集会→妙法華院まで行進
15:00 御蔵北公園(長田区役所南)集会→須磨区役所まで行進
16:45 須磨区役所前集会

10月までには、必ず総選挙があります。医療破壊を進める政権に厳しい審判をくだそうではありませんか。

弱いものいじめの政治に総選挙で審判をくだそう

オリピック開催に世界の目が注がれているから、コロナ患者は減らす必要があるが、それ以外の病人はどうなってもいいのでしょうか。私たちが納めた税金が、私たちの命を削るために使われる。そんなバカな話、許すわけにいきません。



サービス付高齢者向け住宅 ケアホーム布引 入居者募集中！

ケアホーム布引は共和会が経営している唯一の住宅で、医療と介護の複合施設「ふきあいの郷」の3・4階にあります。賃貸住宅である出入り制限なしの身軽さと、階下に医療・介護施設がある安心感の両方を併せ持つサービス付高齢者向け住宅として神戸市に認定されている施設です。年明けから転居等の理由で退去が続き、6月現在4室が空いています。見学はいつでもおこなっています。まずは担当者まで連絡を。☎078-862-1828 担当：金光谷 和彦（かねみつや かずひこ）



かぶとの所が難しかったです。私の近くも1軒、高く泳いでました!!

小林安子（長田区）

「あとひとつ、見つけれずに、換えるめがね」

難しいですね（笑）

有友紀子（北区）

ワクチンの接種予約が取れました。自宅近くの医院です。接種日は2か月余りも後ですが、それまで自粛して、元気で接種を受けられるよう頑張ります。

久次米菊栄（東灘区）

「コロナ禍、一日中、一人で過ごすことが多くなりました。今年度方針に「場づくり」とあり、何とか参加できないかと思っています。」

植木孝子（東灘区）

なかなかクイズに当たりませんが、今回、久しぶりに出します。このたび「いつでも元気」の読者になりました。カラーが多くて読みやすそうです。楽しみにしています。氏名なし…ハガキを引いても名前が書いてないと当選にできません。気をつけて！

魚崎のアーモンド並木にふれた5月号・支部だよりのなかで「浄水場」とあるのは「下水処理場」の間違いですね。正確には東水環境センター東灘処理場です。

大河孝夫（東灘区）

ありがとうございます。見落としてました…編集者

まちがいは7つとのつきあも30年以上になりました。季節の絵も好きです。大西先生が亡くなり、本当に残念です。4月14日には先生、車椅子で診てくださったのですが…。

阿部千鶴子（東灘区）

「コロナのワクチンの予約、娘にしてもらいました。私では無理です。これは年寄り泣

サークル紹介

うなぎ丘サロン ちぎり絵

兵庫支部 宇城 明子

3年前のサロン開設後「新聞ちぎり絵」教室を毎月第2月曜日に開いています。色とりどりの新聞を「手でちぎって」「のり」で「ハガキ」に貼っていきます。作るものは、花、果物、その他季節の行事（ひな人形・こいのぼり）等々です。はじめは、できないうちでいた人も少しずつコツがわかり上手にできるようになり、一枚出来上がると大喜び！お互い見せ合っています。

一人ひとりの個性ある「ち

ぎり絵」が出来上がっています。コロナが収束したら、お茶を楽しみながら作品の感想等おしゃべりができることを心待ちにしています。



先生の作品の一例

クイズ まちがいは7つ

『夏のキャンプ』
2つの絵に7か所ちがうところがあります。どこでしょうか？（印刷のよこれやかすれを除く）
絵に7か所の○印を入れ、ハガキに貼ってご応募ください。住所・氏名を忘れずに。

■宛先 〒658-0051
神戸市東灘区住吉本町2-19-3
東神戸医療互助組合事務局 宛

■しめきり
8月10日到着分まで
※正解者の中から抽選で10人の方に500円の図書カードを進呈（9月下旬発送予定）。

★393号では137通の応募があり、117通の正解でした。
★393号の答え——①吹き流し、②鯉のぼりの腹ビレ、③尾ビレ、④右の女の子のかぶと、⑤中央の男の子のズボン、⑥左下の花びら、⑦鯉のぼりのボール

■当選者（393号）

小松 公江さん（東灘区）
清水 弘和さん（宍粟市）
谷田 淑美さん（北区）
片岡美早穂さん（東灘区）
中元 昌一さん（明石市）
多田あけみさん（兵庫区）
関根 良子さん（須磨区）
高橋 悦子さん（東灘区）
植木 孝子さん（東灘区）
吉岡 高志さん（中央区）



かせですね。
小倉愛子（東灘区）
「コロナだから、吹奏楽祭には家族ひとりだけ来てもらうことですね。」
宮武凜乃（兵庫区）

「このもの曰、雨のせいか街は静か、まったく音が聞こえてきません。これもまた平和？」
清水恭子（東灘区）

転居の際はご連絡ください

毎号、かなりの数が「宛先不明」となっています。転居される際は互助組合事務局（☎078-851-9381）にご連絡ください。とくに、以前の住所から転送される郵便でニュースを受け取っていらっしゃる方は、至急、ご一報ください。ご協力よろしくお願いいたします。

いつもご苦労様です

健康ニュース
配達協力者ご紹介

『健康ニュース』は多くの組合員のボランティアによって、みなさんのお手元に届けられています。現在、配達協力者は324人。お世話になります。

芦屋支部
河村 昱夫さん



配達地域 三条町、三条南町、平田町

御影支部
小林アオイさん



配達地域 御影本町1～7丁目、御影中町5丁目

2021年6月1日の東神戸医療互助組合

- 組合員数（転居先不明を除く）19,226世帯
- 出資金 1,347,576,092円

●各支部の連絡先一覧
芦屋支部 TEL(0797)31-7454（芦屋民商内）
ほくら支部 うはら支部
住吉北支部 住吉南支部
六アイ支部 御影支部
灘東支部 灘西支部
TEL(078)851-9381（互助組合事務局）
葺合北支部 TEL(078)231-2335（柳筋診療所内）

葺合南支部 TEL(078)231-9031（東神戸診療所内）
生田支部 TEL(078)351-0251（生田診療所内）
兵庫支部 TEL(078)371-1841（事務局長個人宅）
北支部 TEL(078)594-7611（訪看 なでしこ内）
北神支部 TEL(078)597-6962（支部長個人宅）

●出資金はこちらへ
郵便振替
口座番号：01180-7-29220
銀行振込
みなと銀行住吉支店
口座番号：普通213870
★いずれも名義は「東神戸医療互助組合」